平成２９年度（２０１７年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験問題

西洋音楽史

I.　次のＡ群の各項にもっとも適切と思われるものをＢ群から選び、その記号を書きなさい。

A群：

1）交響曲第５番《プロメテウス》で「神秘和音」を用いるとともに、色光オルガンによる光の効果をとりいれようと試みた作曲家。

2）古代ギリシアのダブルリードの管楽器で、しばしば双管で演奏された。

3）イタリアとブリテン諸島を旅した折に受けた印象をもとに、その地の名前をつけた交響曲《イタリア》と《スコットランド》を書いた作曲家。

4）《ミサ曲「ミ・ミ」》、《種々の比によるミサ曲》、《任意の旋法によるミサ曲》など13曲のミサ曲を書いたフランドル出身の作曲家。

5）14世紀イタリアの盲目のオルガニスト、作曲家で、数多くのバッラータを書いた。

6）既存の旋律に新しい歌詞を付して歌うこと。替え歌。

7）ヴェネツィア楽派の作曲家たちがしばしば用いたやり方で、合唱を２群以上のグループに分けて空間的に対置する手法。

8）1722年『和声論』を出版し、近代和声学の基礎を確立したとされるフランスの作曲家、理論家。

9）ブッフォン論争のきっかけにもなったインテルメッゾ《奥様女中》の作曲者。

10）1501年ヴェネツィアで移動植字法による歌曲集『多声音楽の百の歌』を出版した。

B群：

a) Nikolay Rimsky-Korsakov
b) quodlibet
c) François-Joseph Fétis
d) stile rappresentativo
e) Domenico Cimarosa
f) Josquin des Prez
g) Pierre Attaignant
h) Giovanni Battista Pergolesi
i) Francesco Landini
j) aulos
k) Franz (Ferenc) Liszt
l) cori spezzati
m) contrafactum
n) Ottaviano de' Petrucci
o) Jacobo da Bologna
p) Felix Mendelssohn-Bartholdy
q) Aleksandr Nikolaevich Skryabin
r) Johannes Ockeghem
s) cornet
t) Jean-Philippe Rameau

II. 次に挙げた項目から4つを選択し、簡単に説明しなさい。解答用紙の（　）内に選んだ項目の番号を記すこと。

1．スティーレ・コンチタート（興奮様式）
2．ミサ通常文
3．マンハイム楽派
4．メタスタージオ
5．コンチェルト・グロッソ
6．家具の音楽
7．「角笛」交響曲

III. 次に挙げた作品から5つを選択し、成立時期（正確な年号は問わない）や楽曲の特徴、および西洋音楽史上の重要性について述べなさい。解答用紙の（　）内に選んだ項目の番号を記すこと。

1. ヤーコポ・ペーリ《エウリディーチェ》
2. ヨハン・セバスティアン・バッハ《平均律クラヴィーア曲集》
3. クロード・ドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》
4. ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《交響曲第9番》
5. ジョン・ケージ《4分33秒》
6. ヨーゼフ・ハイドン《弦楽四重奏曲作品33》
7. ギョーム・ド・マショー《ノートルダム・ミサ曲》
8. カール・マリア・フォン・ウェーバー《魔弾の射手》

平成 29 年度（2017 年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程共通試験問題

日本音楽史

（1）次の文の（ア）から（ノ）にあてはまる語句を次頁の語群から選んで答えなさい。

① 能は、（ア）、歌舞伎と並んで、我が国の三大演劇といわれることもある。しかし、これらは音楽と不可分に結合しているため、たんに演劇というよりは「楽劇」というほうが適切である。能は、面をつけた役者が、語り、（イ）という斉唱コーラスや、（ウ）ともいわれる四種の楽器（能管、（エ）、（オ）、太鼓）による囃子にのって舞う音楽仮面劇であり、（ア）は、（カ）という浄瑠璃の語りによって物語が展開する音楽人形劇であり、歌舞伎は（キ）（ク）（ケ）などの三味線音楽を伴奏に役者が踊り演じる歌舞劇だからである。

② 平家琵琶の伴奏で、「平家物語」を語る音楽を「平家」という。平家の曲は、前田流を例にとると、伝授の制度により分類される。まず、（コ）という最初に教習する曲群があり、その中には節物という叙情的な内容の曲や、（サ）という勇壮な合戦の場面を含む叙事的な内容の曲が含まれる。その上には「習物（伝授物）」とされる曲群があり、それらをすべて習得すると、「平家物語」の冒頭の有名な（《シ》）という曲を含む「秘事」とされる曲に進む。

③ 16 世紀後半に大坂の堺に伝えられた沖縄の三線は、胴の皮を（ス）から（セ）に変え、胴の形や棹の形も変えた。琵琶用のものに似た（ソ）を使う三味線が誕生した。三味線の最初期の音楽は、（タ）という弾き歌いの歌曲であった。その最初の、最も古い楽曲群を（チ）という。のちに作られた楽曲群を（ツ）といい、最初に作られた本来のもの、規範となるものと区別した。

④ 室町末期に、九州久留米の善導寺の僧、賢順は、箏の伴奏による弾き歌いの歌曲を大成した。この流れが後に（テ）と呼ばれるようになった近世最初期の箏曲である。賢順の弟子の法水は江戸に出て、盲人音楽家の（ト）（1615～85）に（テ）を伝授した。（ト）は、法水伝の箏曲を改革し、芸術的に発展

させた。彼は、《箏組歌十三組》、(《ナ》)《八段の調》《乱》などの（ニ）、その他を作曲した。

⑤ 現在の雅楽は、中国系の（ヌ）と、朝鮮半島系の（ネ）に分類される。これらは、楽器編成や楽曲、舞を伴うか否かといった演奏形態が異なるが、すべての楽曲に共通して用いられるのが、ダブルリードの管楽器（ノ）である。

語群

生田検校、猫皮、文楽、読物、段物、地謡、三味線声曲、破手組、清元節、筑紫箏、四つ物、義太夫節、小鼓、馬皮、平物、長唄、唐楽、一中節、拾物、爪、常磐津節、大鼓、本手組、笙、蛇皮、祇園精舎、伎楽、三味線組歌、バチ、高麗楽、那須与一、八橋検校、四拍子、三ノ鼓、八雲琴、六段の調、篳篥

（2）次の問いについて、論述しなさい。

①「音楽に国境はない」「音楽は世界共通の言語」といった考え方に代表されるように、「音楽」は、その国際性や普遍性が強調されてきた面がある。しかし、日本音楽の場合、こうしたことがいえるかどうか、あなたの知っている日本音楽を例にして、自由に論述しなさい。

②現在行われている日本音楽の各種目は、それぞれ成立の時期が異なり、それぞれ変化や中断はあるものの、今日まで完全に絶えることなく「並列的に共存」してきたものであるという特徴がある。これについて、あなたはどのように考えるか論述しなさい。